

にっしん

AGRICULTURAL
COMMITTEE

農業委員会

日進市農業委員会

第2号

平成21年2月1日
発行編集
日進市農業委員会
電話 (0561) 73-2197

だより



本郷町周辺の田園風景

にっしんがめざす農業

― 農地を守る 農業委員会の使命 ―



日進市農業委員会

会長 牧 正行

平成20年7月に日進市農業委員会の改選で会長に選任されました牧正行でございます。

いま、地球温暖化の影響か、異常気象で農産物にも異変が見られ、戸惑う日々であります。

また、相次ぐ食品の偽装が食の安全・安心への消費者の強い関心事となり、農産物にも目を向ける人が増えていきます。

この様な環境のなかであります、農業委員会の使命・役割は言うまでもなく、農地を農地として守ることですが、近年は農業従事者の高齢化、後継者不足と進む都市化で元々優良農地であった農地が遊休農地化されているところが目につきます。担い手や後継者の育成に力を入れ、また、農業経験のない人が市民農園等で自ら土に触れ、農業を経験し、育てた農産物で安心・安全を学び、そして生きがい、やりがいを感じ、喜びに変えて欲しいと思います。

こうした新しい担い手を加えて市と農協の協力を得て、市内の優良農地を守り、そこから地産地消へとつなげ、日進の農業を発展させることを願うものであります。

日進市農業委員会は、今後とも市内の農地を守るため、努力します。

日進市農業委員会の 取組み

1 「農地の転用・売買・賃借 等の議案の審議・議決」と 「農地パトロール活動」

毎月、会議を開催し、そこで農地の転用や売買等の議案の審議、議決を行っています。会議の日には、市内の農地パトロールも行っています。パトロールは市内各地区を4班に分けて、地域の農業委員を中心に、遊休農地や違反転用の状況等を確認し、必要に応じて是正の指導をしています。

また、最近、近隣市で、粘土採取事業者が土を埋め戻す際に、産業廃棄物を埋め、摘発される事件が発生しました。このようなことがないよう、パトロールを強化していますが、地権者においても自身の農地を守るため、埋め戻す土がどこから運び込まれるものか等内容を確認し、管理をしていただくようお願いいたします。悪質な業者

による不審な行為等を発見した際には、農業委員会までご連絡いただきますようお願いいたします。



農地パトロール

2 「遊休農地解消及び食育 のモデル事業」

市内の遊休農地を解消し、耕作を推進していくため、市内の農地を活用し、モデル事業を行っています。

平成19年には景観作物である

コスモスの栽培を行い、20年春は、近隣の福祉施設の方々を招いてじゃがいもの収穫祭を行いました。また、秋には近隣の保育園の園児約80名を招いて収穫祭を行い、さつまいもの収穫と玉ねぎの植付け、その後、焼き芋をして土にまみれながら半日農地で楽しい時間を過ごしました。子どもたちと一緒に楽しいイベントを通して、農地を守ること、地産地消食の大切さを学びました。

今年は、園児たちが自分で植えた玉ねぎの収穫祭を予定していますが、

現在は1箇所の農地で行っていますが、できれば他の地域でも事



じゃがいも掘り（春）

業を行い、地域と一緒に遊休農地の解消をしていきたいと思っています。



さつまいも掘り（秋）

農業委員（21名）の紹介

小池八郎（赤池）	加藤竹男（浅田）
鈴木博恭（梅森）	出原 正（野方）
増田勇夫（蟹甲）	福岡信久（折戸）
萩野昭年（藤枝）	武田博泰（米野木）
杉山 寛（三本木）	中條一美（藤島）
塚本保彦（本郷）	堀之内清（岩崎西）
井上 求（岩崎東）	鈴木昭忠（岩藤）
市川 豊（北新）	
牧 正行（あいち尾東農協推薦）	
中川勝美（愛知用水土地改良区推薦）	
武田 司 福岡幹雄	
岡田一枝 萩野淑子	

（以上議会推薦）

伝えたい

食育

岡田 一枝 委員



干し柿

日々のニュースで食品に対する関心の高まりが報道されています。食に対する意識が見直され、食の安心安全を求めることが地産地消の動きにつながっています。

また、郷土食でみられる工夫も次世代に残して生きたいと思っています。

食べることは、喜びです。口に入るものが安全であれば、身も心も豊かになり、活力となります。食べることの大切さを理解することが食育だと思います。さて、秋のイベントで子供連れの若いお母さんがみえて、野

菜や果物の並んでいる中に柿を見つけて、「あつ、これ渋柿だね！昔母が作って食べさせてくれた。とても美味しかった。私にできるかしら？」と話されました。

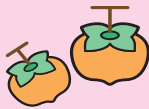
干し柿を作りたい様子でしたので作り方を教えました。

簡単な作り方に納得され、「これなら私にも出来そう！作って、この子に食べさせてあげよう。」と言い、渋柿を手にして、笑顔で帰っていかれました。

食育は、家庭の中で育まれてきたものであると、あらためて思い、伝えていくことの大切さを感じました。

●作り方

- 1 柿は枝を丁字に残して切る。
- 2 柿の皮をむく。
- 3 紐で縛る。
- 4 10秒程度熱湯にくぐらせる（雑菌処理のため）。
- 5 風通しのよいところにかけて干す（1カ月～1カ月半）。



活躍する

農業の担い手

（株）尾東農産

「大切な農地、有効に活用しましょう！」

あいち尾東農協の子会社である（株）尾東農産では、農家の皆様の農地を活用し、水稻を中心に耕作を行っています。

〈（株）尾東農産の概要〉

1 設立

平成19年4月

2 事業

農産物の生産・販売、農作業受託、農地の保全管理作業、貸農園の管理・運営、農作業に関する研修など

平成19年度の利用権設定面積

1.4 ha

平成20年度の利用権設定面積

10 ha

（見込み）



（株）尾東農産スタッフ

田んぼ（農地）の管理・耕作でお困りの方は是非「（株）尾東農産」へご相談ください。

●問合せ先

（株）尾東農産

電話

0561・74・1411
0561・72・0016

（JA日進支店取次）

住所

日進市蟹甲町池下213-1

ちょっと
一息
手前みそ

おいしいみそを作りましょう!!

自分で仕込んだ手作りみそは格別!
寒い2月に仕込むのがベスト!!

萩野 淑子 委員



材 料

(できあがり10kg分)
大豆 2升(約2.6kg)
米麴 1升(約1.6kg)
豆麴 1升(約900g)
塩 1kg

作 り 方

① 洗って3〜4倍の水に一
昼夜浸水させた大豆をぎ
るに上げ水切りする。



② 豆と水1リットルを圧力
鍋に入れて煮る。

強火にかけ、蒸気が出た
ら弱火にし15分程煮る。
その後、10〜15分くらい
圧が抜けるまで蒸らす。
煮えたら熱いうちにざる
にあげ水を切る。煮汁は
種水用にとっておく。

豆をもちつき器又はすり
鉢に入れてつぶす。

④ 塩大さじ1程を残して、
米麴と残りの塩を混ぜ、
よく混ぜたら豆麴と混
ぜ、塩切り麴とする。

⑤ つぶした大豆と塩切り麴
を混ぜ、種水を加えて耳
たぶ程度の固さにする。

⑥ ⑤を丸め、熱湯で消毒す
るか酢またはホワイトリ
カーで殺菌した容器にす
き間なく詰め込む。

⑦ ④で残しておいた塩をば

らばらとふりかけ、ラッ
プでみその表面をぴった
り覆う。

⑧ 容器の内側をきれいにふ
き取り殺菌し、冷暗所で
保存する。

最後に

詰め終わったら完全に冷め
てから蓋をします。タッパ
等の密封容器は重石をしなく
ても熟成しますが、ホーロー
容器、瓶、漬物容器などは重
石をしてください。カビが生
えないように、ホワイトリ
カー又は酢できれいに殺菌し
ます。みそは土用を越すとお
いしく食べられます。3年程
おくと、香りは多少落ちます
がこくがでてきます。

お知らせ

1 農地の転用・売買・賃借等は、日進市農業委員
会へご相談ください。

農地を農地以外に転用又は農地を売買・賃借等
する場合は、農地法上の許可申請(市街化区域に
ついては届出)が必要です。

特に、農地の転用については、資材置場や粘土
採取などの一時的な転用でも許可申請(届出)が
必要です。無断で転用されますと罰則もあります
ので、必ず農業委員会にご相談ください。

2 標準小作料を改訂しました。

昨年11月に小作料協議会を開催し、12月の農業
委員会の議決を経て、市内農地の標準小作料の改
訂を行いました。平成21年1月1日からの標準小
作料は次のとおりです。なお、この標準小作料は
あくまでも参考額であり、農地を賃貸借する場合
は、両者納得の上、決定してください。

標準小作料 10,000円(10a当たり)

3 全国農業新聞のご購読をお願いします。

週間の全国農業新聞には、農業・農政の解説や
農業経営・流通の最新情報、くらしや地域の話題
等が盛り込まれています。ご購読をお願いします。

●連絡・相談先

日進市農業委員会

(日進市役所産業振興課内農業委員会事務局)

電話 0561・73・2197